

(6) 2017年(平成29年) 11月9日(木曜日)

「万事休す、もうだめだ」人生には何度かそう思う時があります。大学生のサラも、そんな経験をしました。2008年4月、大学女子ソフトボールの試合が西オレゴン大学と中央ワシントン大学の間で行われました。西オレゴン大学のサラの打順です。いつもは消極的な彼女でしたが、無心にバットを振りました。カーン！ボールは大飛球となってフェンスを越えホームランになりました。練習でも試合でも一度も経験のないホームランでした。彼女は大喜びで飛び跳ねながら一塁に向かいます。喜びすぎたせいで一塁ベースを踏み損ね、その場で転倒、自力で立てないほど膝を痛めました。

敵味方の選手が集まって来ました。助け起こそうとするので、審判やコーチが叫びました。「手を出すな」ルールブックによれば、味方選手が

南加キリスト教教会連合

ホームランを打ったけど

平湯 晴彦

彼女を助けるとサラはアウトになり、ホームランは無効になるというのです。サラは、痛みで顔をしかめて倒れていました。何でもかえってもいいです。私が助けてもいいです。二塁手のリスも「私も手伝うわ」と申し出ました。ルール上問題ないと確認できたので、サラは二人に足をかかえてもらい、二塁、三塁、

本塁にタッチして、ホームランが成立しました。この事件でサラはニュースに出て有名な人になり、彼女の人生を変えらるほどの出来事になりました。もうだめだと思っても、脱出の道があったのです。

「あなたがたの遭った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてください。」(コリント人への手紙第1、10章13節)  
(オレンジコーストフリーメソジスト教会牧師)